エピソード14

子どもがけがをして保護者に連絡をするとき…

養護教諭のアドバイス

なみちゃん
　小学校教師として25年以上の経験があります。
エデュサポネットのファシリテータです。

COPYRIGHT Ⓒ 2021 UEKI Katsumi, HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION all rights reserved.

熟年の養護教諭から若い先生への
アドバイスを紹介します。

学校で子どもがけがをしたり、
具合が悪くなったりして、保護者に連絡する
ときのことを、振り返ってみました。

担任が授業中のときなどは、養護教諭が
保護者に説明することがよくあります。

子どもが、けがをしたり具合が悪くなった時、担任の先生は、どのようなことに気をつけたらいいのでしょう。

お迎えに来た保護者と接する中で、私が気づいたことは、とても細かいことまで尋ねる保護者が多い、ということです。

どのような状況で起きたのか、何時頃から具合が悪いのか、など、できるだけ詳しく状況を、私に伝えてほしいのです。

先生が保護者に伝えるときに
気をつけていることはありますか。

顔面や頭部、首などのけがは、特に詳しく
事実を伝えることが大切だと思います。

また後からでもいいので、担任の先生
から、状況を説明することも大切です。

担任から保護者に状況を説明する
ときに、気をつけることはありますか。

学校でのケガなので謝罪は必要ですが、
けがをさせてしまったことに動転せず、
保護者に事実を伝えることが大事です。

謝ることばかりに気持ちがいくと、
事実が伝わらず、却って誤解を
まねいてしまうことがあります。

若い先生に、特に伝えたい
ことがありますか。

保護者に状況を説明するときは、
できるだけタイムラグを作らない、特に
日にちを挟んではいけないと言っています。

また、どのような状況で、どうなったのか、
という事実を話すように伝えています。

保護者から質問があったときは
どうしたらいいですか。

答えられることは、事実をもとに説明し、
保護者に理解してもらうようにします。

細かいことまで尋ねる保護者もいますので、
すぐに答えられないときは、いつまでに
お答えします、と伝えることが大事です。

なみちゃんの一言

- 保護者は、どんなに小さな傷でも、どのような状況で起きたのか、きちんと説明してくれることで安心します。
- 状況をきちんと把握して、再発をどのように防止するかなど、説明できるようにしたいですね。
- また、けがの大きさや状況に応じて、学校として対応していくことが必要なこともあります。学年主任や管理職に報告することが大事です。

お・し・ま・い

イラスト　尾上樹里
（北海道教育大学 大学院生）

COPYRIGHT Ⓒ 2021 UEKI Katsumi, HOKKAIDO UNIVERSITY OF EDUCATION all rights reserved.